

豊田民報

日本共産党豊田市委員会
◆豊田市日之出町一、六、六
Tel: 三四・四七二二
毎週一回発行

南部地域に総合病院が開院 地域の願い担う救急医療の充実を

高岡地域の竹元町荒子に4月1日、「豊田若竹病院」が開院しました。内科、外科など11の診療科があり、250床のベッド、リハビリテーション病床が充実した病院です。開院前の3月10、11日には、一般向けの内覧会が開かれ、地域から延べ6300人が訪れ、この病院への期待の大きさが窺われます。先日、党市議団でこの病院

を見学に向い、地域住民の期待に応えられる病院を目指したいとの考えをお聞きしてきました。

南部地域では、総合病院が遠く、救急搬送では市外の安城市、刈谷市、岡崎市の病院に年1千件も搬送されている状況から、市民が会を立ち上げ、地域で署名に取り組み、救急対応のできる病院の建設をと、市に要望を届けていました。

日本共産党の根本みはる市議は、市議会の一般質問で、県の医療計画で、西三河北部医療圏のベッド数が基準より524床少ない状況から、病院が不足していることを指摘してきました。また、救急では、2次救急、3次救急の医療施設の地域が偏在し、高岡地域には救急施設が無い実態から、救急医療の必要を訴えてきました。

今回、住民の期待がある中



での病院の開院となりました。地域の要望である2次救急を担うためには、今後、市の協力が求められます。

党後援会が 花見の会を開催

3月31日(土)に日本共産党豊田市後援会が花見を開催。ちようど桜は見ごろで、花びらが舞っていました。



市政報告会・懇談会

●根本みはる市政報告・懇談会
4月15日(日)午前10時30分～
下山基幹集落センター会議室
主催:日本共産党下山後援会

●名鉄バス廃止とおいでんバスの
拡充を考える報告会
4月15日(日)
午後2時～4時

高橋コミュニティセンター第1会議室
主催:おいでんバスの拡充を求める会



アベ政治を許さない!! 森友疑惑で内閣総辞職を

毎月3日の「アベ政治を許さない」スタンディング行動(豊田革新懇主催)が、4月3日、豊田市駅東口で行われ、春休み中の若者などが、安倍9条改憲ノートの署名に応じていました。シール投票もおこなわれ「森友公文書改ざんの責任は安倍首相にある」と全員のシールが貼られ、対話が弾みました。

次回は、5月3日(憲法記念日)午後1時から。



公文書改ざん データねつ造 教育への不当介入

安倍政権はもう退陣を!



国有地の異常な8億円もの値引き。疑惑を追及されると公文書を改ざん——国政を私物化し、民主主義を破壊する安倍政権。厚労省は裁量労働制データねつ造、文科省は学校教育への不当な介入…、その「毒」は行政府全体に。いま国民の怒りの世論が沸騰しています。

東京・新宿ホコ天に8000人が集まった「内閣総辞職」を求める大集会=3月25日

森友事件 佐川喚問で疑惑ますます深まる 昭恵氏は国会で真相語れ

「訴追のおそれがあるから」と核心部分の証言をいっさい拒否しながら、「安倍首相夫妻の影響ない」と、政権に都合のいいことだけは明言した佐川氏。いっそう疑惑が深まりました。真相を解明するためには、昭恵氏はじめ関係者全員の証人喚問が必要です。

「文書の改ざんについては刑事訴追のおそれる理由に『答えられない』を連発する一方、総理や総理夫人、官邸や総理秘書官の関与については明確に否定し、その落差が非常に激しいという印象を受けた。政治家の関与がないのなら、なぜ文書の改ざんという重大な行為が起きたのか、疑問がさらに拡大した印象がある」
落合洋司弁護士・元検事 (NHKニュース3月27日)

市民と野党が力あわせて まともな政治に! 日本共産党